

障がい者をお持ちの方の生活を考える研修会

社会福祉法人 大牟田市社会福祉協議会

〒836-0815 福岡県大牟田市瓦町9番地の3

助成事業の概要

実施目的

私達が住んでいるこのまちで生活する中で、私達にとっては「日常的」なことが、障がいがあるゆえに、「困難な出来事」と感じる人もたくさん暮らしている。そこで、障がいのある方の世界を少しでも知っていただき、地域住民みんなで、誰もが生活しやすい地域づくりの「きっかけ」を見つけていけばと思い研修を実施した。

時 期

平成23年6月10日～平成24年3月28日まで

内 容

別表（[ここをクリック](#)）

事業の成果

今回は障がい児・者が地域で生活する上で、よりよい環境となるために、障がいについて知り、理解し考えることを目的とし、職員をはじめ、地域者等を対象に、研修会を行った。参加者は1回目10名、2回目72名、3回目54名、4回目21名、5回目70名、6回目42名、7回目40名という結果であった。1回目はボランティア活動前の心構えとしての意味も含めた研修であったので、人数は少なかったが、それ以降は募集人数を大幅に上回る参加となった。特に「発達障がい」に関しての研修時に地域の方々や当事者（保護者）の申し込みが多く発達障がいについて課題を感じていることがわかった。

受講者の感想としては、第2回「大変わかりやすく、目からうるこのような話もありよかったです」「気持ちが楽になりました」等とあり、研修内容や質疑応答が具体的な支援につながる機会になったという声が多く、3回目は「自分を表現する子ども達が輝いていました力をもらいました」「聞いているうちに涙が流れました」とあり、心が動いた内容だったという感想が多い研修となった。更に4回目は「支援するに当たり、動機づけが重要だと感じた」「今後の参考になると思いました」等、5回目は「大変わかりやすく、感動と笑いで受講できました」「子育ての最中または学校の先生にも聞いてほしかった」等があり、発達障がいに関する特性だけでなく、一人ひとり相手のことも自分のこともよく知った上で支援していく必要性を皆で共感できたという内容であり、6回目は「人と人とのネットワークを大切にしていかなければならないと痛感しました」「たまり場（地域づくりの場）に積極的に参加していきたい」というような、地域の中での繋がりの大切さやきっかけ作りの大切さを改めて感じたという感想であった。

そして、講座を受けた方から「これからも、このような機会があってほしい」との意見も寄せられ、このように「知る・学ぶ」ことができる場が必要とされているということが再認識できたことも、今回この講座を行った成果として捉えている。今後も様々な角度から「きっかけづくり」という役割を担っていきたい。

■ 今後の展開

今回、今後の研修の希望として「発達障害」「知的障害」「精神障害」に続いて、「制度について」や「きょうだいについて」があげられ、地域の方や当事者の方々が色々な角度から興味を示されていることもわかった。今後はこのような皆さんの思いをもとに「きっかけづくり」の幅を広げ、実際に当事者と地域の人達が意見交換をしたり、一緒に活動しながら相互に歩み寄れるような機会を地域に根ざしながら展開していきたい。